

市議会レポート

NEWS Yaizu 2026.7 vol.07



市民の声を市政に反映できるか 挑戦しています

市議会議員になり3年半が経過し、議会での質問も13回を数えました。

議員の仕事は「市政の監視」と「提言」。

市民の皆さんの声をもとに、焼津市の課題に向き合ってきました。

本レポートでは、一般質問を通じて何を問い、今どうなっているのかを報告します。

ぜひご参加ください！

市政を身近に
感じる機会です
やいづを語る
市民の会

議会の内容を分かりやすくお伝えし、
皆さまの声を直接伺います。
どなたでも大歓迎！

やいづを語る市民の会 プログラム

- ・市政と議員活動報告：市の課題と議会での質問
視察情報 最新義務教育事情
- ・やいづを語る意見交換

小川会場

定員24名

日時 2026年7月25日(土) 10:00～11:30

場所 小川地域交流センター：焼津市南小川2丁目19-1

東小川会場

定員30名

日時 2026年7月25日(土) 14:00～15:30

場所 小川東公会堂：焼津市東小川2丁目9-14

▶ご要望があれば、ごく少人数でも「語る会」を開催いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

活動報告 1月～6月

議会期間以外は視察や市民との意見交換

所属する総務文教常任委員会では、学校教育をテーマに調査・研究を進めています。
焼津市の学校教育の現状を把握する為、学校教育課や教育センターにヒアリングを実施。
また先行事例を研究する為、牧之原市や県外を視察。小中一貫教育や義務教育学校、
チーム担任制などの事例を参考に、秋には提言書の提出を予定しています。

1/31

やいづを語る市民の会 3会場

2/4

スマートシティYAIZUワークショップ参加

2/16～3/19

2月定例議会 R8年度予算審査・一般質問

4/17

総務文教委員会 県内視察 牧之原市

4/22

総務文教委員会 市内視察 教育センター他

5/11・12

総務文教委員会 県外視察 岡山県総社市・香川県丸亀市

5/13

静岡県デジタル戦略課ヒアリング

6/1～6/26

6月定例議会 一般質問



やいづを語る市民の会

市の答弁で何を引き出せるのか！ 毎回緊張する一般質問

2月定例議会 二地域居住と移住定住

人口減少課題に直面する焼津市にとって、移住定住は重要な戦略。
いきなり移住を勧めるのではなく、関係人口を増やし、二地域での活動から、いずれは焼津に移住してもらう政策の実現性について、質問しました。

6月定例議会 DX推進計画とGIGAスクール

いまや市役所でも学校でも、なくてはならないデジタル機器や仕組み。
今年度スタートしたDX推進計画と、5年が経過し機器の更新を予定しているGIGAスクール。「人にやさしいデジタルになるのか」という視点で質問しました。

市政を質す
一般質問



焼津市議会
映像配信

令和7年度 政務活動費 のご報告



焼津市議会
政務活動費

議員に付与される年間30万円の経費 その活用方法

交付額	実績額	支出科目	金額	内 訳
¥300,000	¥330,127	研修費	¥76,887	研修2回 東京1泊2日・日帰り
		自己負担		市議会レポート印刷・配付2回 (10,000部・9,000部) 市政報告会5回・ワークショップ2回
	¥-30,127	広報費・広聴費	¥232,060	
		資料作成費	¥21,180	インクジェットインク・コンビニプリント

「政務活動費」は市の事業や課題に対する調査研究、市民への活動報告や意見を聴く活動のため、議員報酬とは別に経費として付与されますが、使い方は議員・会派により様々です。私は年に2回のレポートの発行、市民の皆さんへの活動報告と意見交換が主な使途になります。領収書や研修報告などの詳細は議会ホームページをご確認下さい。

焼津市の課題、その後 ～一般質問13回の軌跡～

就任から3年間、13回の一般質問を通じて見えてきた焼津市の課題があります。データだけでは見えない実態を自ら調べ、議会で問い続けてきました。課題はすぐには解決しません。現在、それぞれがどこまで進んだのかを振り返ります。

「働きたいのに預けられない」現実が続いています ～隠れ待機児童～

◇課題

焼津市は「待機児童ゼロ」とされていますが、保育園に入れず仕事を辞めたり、就職活動を諦めたりする方がいます。数字に表れない「隠れ待機児童」が存在しています。

◇質問（令和7年9月議会）

独自にアンケート（59件）を実施し、約200人規模の待機があることを見積もり、市に確認しました。あわせて、入園の優先順位を決める基準が家庭の実情に合っているかを問いかけました。

◇現在地

市も「入所保留児童は課題」と受け止め、認定こども園を増やすなど、受け入れ先の拡充を進めています。一方で、就職活動中の方は点数が低くなりやすく、入園しにくい状況は今も残っています。

→ 働きたい人が働ける環境に向け、改善を求めています。



焼津さかなセンターの将来はまだ見えていません

◇課題

焼津の象徴である焼津さかなセンターですが、施設の老朽化から、近年は来訪者や出店者の減少が指摘されています。移転の話もあり、市民には見通しが分かりにくい状況です。

◇質問（令和5年9月・令和7年6月・11月議会）

民間企業ですが、第三セクターとして市は50%の株式を持ち、観光戦略にもかかせない存在であることから、市の関わりや今後の方向性について繰り返し確認してきました。

◇現在地

運営会社は新港地区への移転を計画。市は「相談や調整に応じる立場」と説明していますが、時期や具体計画は未確定で、市民への説明もこれからです。



人にやさしいデジタルへ、一歩ずつ

◇課題

デジタル化が進むほど、便利さの恩恵を受ける人と取り残される人の差が広がる可能性があります。本当に必要な人にサービスが届くのかが問われています。

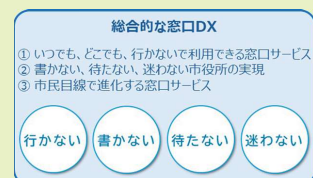
◇質問（任期初めての議会を含め5回）

「使う人の立場でのデジタル化」を任期当初から一貫して質問。業務改革やデータ活用の必要性についても提言してきました。

◇現在地

令和8年4月開始の第2期DX推進計画のビジョンは「つながる人と未来、デジタルで実現するやさしいまち」業務改革は窓口DXなど、市民に近い分野から改善が進められます。

→ 取り残される人が出ない仕組みになるか、見届けていきます。



やいづ市政へ皆様の声、ご意見・ご要望をお寄せください

藤岡雅哉事務所

〒425-0035 焼津市東小川3-6-13

TEL:070-3129-2366 E-mail: fujioka@qol-yaizu.org